科目コード	R6011	科目名	理学療法評価学Ⅰ				
履修区分	必修	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	石倉　英樹						
授業の概要	理学療法評価の目的や方法を学習する。特に理学療法評価学Ⅰでは、徒手筋力検査法について学習する。						
DPとの関連	①平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						ー
	②修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						◎
	③高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						△
	④地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						△
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください						
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	筋力測定の目的を説明することができる。 代償動作を理解し、その状態に応じた筋力検査の項目を述べることができる。 理学療法評価結果より統合と解釈を体験する。						
履修上の注意事項	小テストを実施する。						

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	オリエンテーション、理学療法評価の基礎 ・筋力測定に関する基礎知識【石倉】	理学療法評価における心身機能-身体構造について復習しておく。（60分）
2	徒手筋力検査法（頚部～体幹）① ・頚部の筋力検査に関する方法、代償動作の理解　　【石倉】	頚部の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
3	徒手筋力検査法（頚部～体幹）② ・体幹の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】	体幹の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
4	徒手筋力検査法（上肢）① ・肩甲帯の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】	肩甲帯の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
5	徒手筋力検査法（上肢）② ・肩関節の筋力検査に関する方法、代償動作の理解（前半）【石倉】	肩甲帯の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
6	徒手筋力検査法（上肢）③ ・肩関節の筋力検査に関する方法、代償動作の理解（後半）【石倉】	肩関節の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
7	徒手筋力検査法（上肢）④　・肘関節- 前腕の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】	肘関節-前腕の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
8	徒手筋力検査法（上肢）⑤　・手関節- 手指の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】	手関節-手指の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
9	徒手筋力検査法：頚部～上肢まとめ ・頚部～上肢の筋力検査に関する知識のまとめ【石倉】	頚部～上肢の徒手筋力検査手法を整理し、代償動作や留意点をまとめておく。（60分）
10	徒手筋力検査法（下肢）① ・股関節の筋力検査に関する方法、代償動作の理解（前半）【石倉】	股関節の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
11	徒手筋力検査法（下肢）② ・股関節の筋力検査に関する方法、代償動作の理解（後半）【石倉】	股関節の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
12	徒手筋力検査法（下肢）③ ・膝関節の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】	膝関節-前腕の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
13	徒手筋力検査法（下肢）④　・足関節- 足趾の筋力検査に関する方法、代償動作の理解【石倉】	足関節-足部の筋について、起始・停止・支配神経・作用を復習しておく。（60分）
14	徒手筋力検査法：下肢まとめ　・下肢の筋力検査に関する知識のまとめ【石倉】	下肢の徒手筋力検査手法を整理し、代償動作や留意点をまとめておく。（60分）
15	筋力測定に関する応用的知識 ・疾患に関する筋力評価、統合と解釈について【石倉】	臨床場面で行う徒手筋力検査についてイメージしておく。（60分）

成績評価方法	筆記試験90%、小テスト10% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	新・徒手筋力検査法　原著第10版（共同医書出版）	978-4-7639-0041-8
参考書	理学療法評価学　第6版補訂版（金原出版）	978-4-307-75068-4

教員からのメッセージ	筋力評価は、身体の構造についての知識が不可欠であり、特に解剖学（骨格筋と支配神経）についてはよく復習しておくと良い。
教員との連絡方法	オフィスアワーを活用すること
実務経験のある教員	病院や施設での理学療法士としての臨床経験を基に、理学療法評価（筋力評価）について講義を行う。